

豊岡市の人口推計

2025年3月14日

中嶋圭介

国際関係学科准教授・神戸グローバル教育センター長
神戸市外国語大学

目次

1. 本市 2025 年推計の考え方と結果要旨
2. 出生数
3. 生残率
4. 純移動率
5. 若者回復率
6. 人口推計・シミュレーション結果

1. 本市 2025 年推計の考え方と結果要旨

総人口目標 48,473 人(2050 年時点)

政策目標1 2050 年までに出生率を 1.8 人に引き上げる

政策目標2 2050 年までに若者回復率を 50%以上に引き上げる

【背景】

- 現在の基準推計・政策目標推計(2019)は、国勢調査(2015)を基に作成されている。最新の国勢調査(2020)結果、コロナ禍による人口動態悪化の影響を加味した推計が必要。
- 今回の基準推計・政策目標推計(2025)は、国勢調査(2020)結果、最新の政府公式推計である国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)(2023)、内閣府・内閣官房が 2024 年 4 月、6 月に全国の自治体に提供した自治体別の人口データ、推計ワークシートを使用して作成。
- 基準年を 2020 年、推計期間を 2020～2070 年とする。2050 年時点で政策目標を設定し、2050～2070 年は参考推計期間。

【推計の仮定】

- 出生率:コロナ禍に低下した出生率を、推計期間を通して一定とする。社人研(2023)では、将来的に出生率がやや回復すると仮定しているが、その見通しを正当化する実証的な根拠は認められない。
- 生残率(寿命):社人研(2023)の仮定をそのまま使用。
- 純移動率(社会増減):社人研(2023)は、本市の若者の社会減に対して楽観的な見通しを示しており、20 歳代の転入超過率を大きめに見積もっている。本市の独自推計では、2000～2020 年の過去トレンドを、

2025 年以降一定とする。

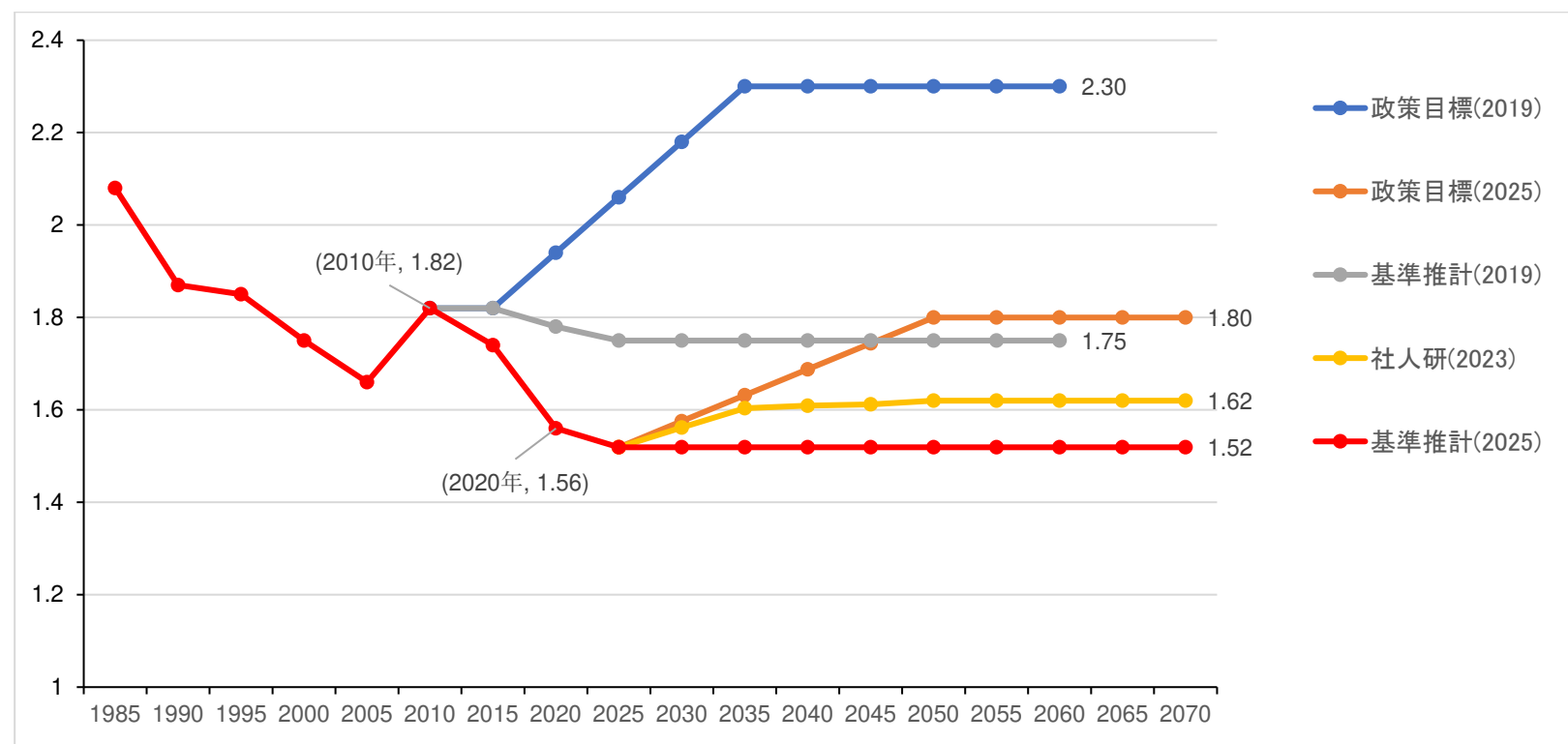
【推計の結果】

- 基準推計(2025)による本市の総人口の推計結果は、基準推計(2019)にほぼ沿った形となった。その理由は、出生率の仮定を引き下げた分が、純移動率の仮定を引き上げた分によって部分的に相殺されていること。また、コロナ禍以降の出生数減少が総人口に与える影響が完全に現れるのは、同世代が子どもを儲けるようになる 2050 年頃からとなるためである。
- これに対して、政策目標推計(2025)に対する影響は大きい。出生率目標を 2.3 人→1.8 人に引き下げ、達成年を 2035 年→2050 年に後ろ倒し、若者回復率 50%の達成年を 2025 年→2050 年に後ろ倒しにしたことによって、人口減少抑制効果は 2050 年時点で 1,041 人、2070 年時点で 2,244 人。政策目標推計(2019)では、2040 年時点で 4,395 人、2060 年時点で 8,412 人としていた。2050 年時点で言えば、人口減少抑制効果を約 8 割引き下げる(6,242 人→1,041 人)目標設定を行ったことになる。
- 結果的に、期待的観測を排除し、厳しい見通しを直視して作成した基準推計(2025)に対して、政策目標推計(2025)は、社人研(2023)の推計結果とほぼ重なっている。

2. 出生数

1990年代～2015年頃:1.7人台で推移、2010年代後半:1.6人台、2020年代前半:1.5人台
本市基準推計では、社人研(2023)が2021-25年の仮定値と設定した1.52を、推計期間を通して一定とすることを提案する。

合計特殊出生率の推移(1985～2020年)推計仮定値の比較(2020～2070年)



合計特殊出生率の実績値

	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
実績値	2.08	1.82	1.75	1.85	1.63	1.94	1.71	1.65										
	1983-87	1988-92	1993-97	1998-02	2003-07	2008-12	2013-17	2018-22										
実績値(ベイズ推定)	2.08	1.87	1.85	1.75	1.66	1.82	1.74	1.56										

合計特殊出生率の実績値

	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
基準推計(2015, 2019)						1.82	1.82	1.78	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75		
政策目標(2015, 2019)						1.82	1.82	1.94	2.06	2.18	2.30	2.30	2.30	2.30	2.30	2.30		
社人研(2023)									1.52	1.56	1.60	1.61	1.61	1.62	1.62	1.62	1.62	1.62
基準推計(2025)									1.52	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52
政策目標(2025)									1.52	1.58	1.63	1.69	1.74	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80

【参考】出生数の実績値と推計値

	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070
出生数	1,166	941	900	903	732	763	609	509										
出生数(社人研 2023)									415	377	352	326	298	265	217	186	167	153
出生数(基準推計 2025)									415	360	320	289	259	225	182	152	133	118
出生数(政策目標 2025)									415	373	345	322	301	276	229	200	183	169

3. 生残率

社人研(2023)の生残率(将来の寿命)の仮定値を、本市推計でも使用する。

4. 純移動率

純移動率は、マイナスの場合に転出超過、プラスの場合に転入超過であることを示している。

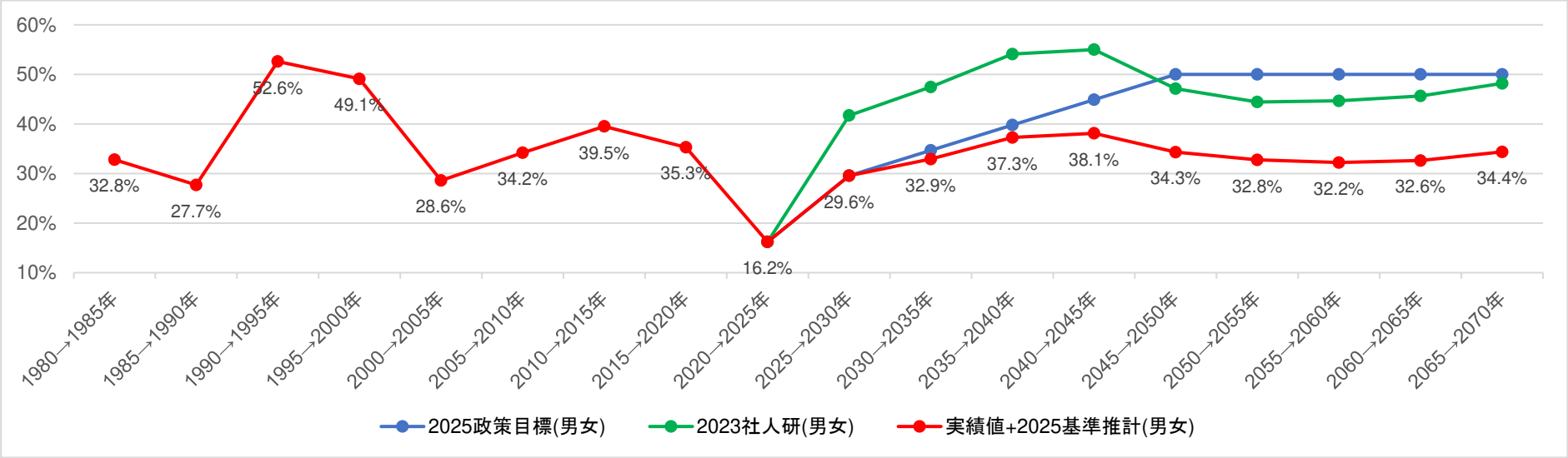
本市の「若者回復率」は、10歳代の転出超過を20歳代の転入超過によって何割「回復」しているかを示す指標のため、特に同年代に注目する。

若者移動に関する将来見通しについて、社人研(2013) < 創生会議(2014) < 2000-2020年平均 < 社人研(2023)となっており、社人研(2023)は、20歳代の転入超過に対する見通しがやや楽観的とみられる。従って、本市基準推計では、2000-2020年平均を使用することを提案する。

単位: %														
	2005 → 2010	2010 → 2015	2015 → 2020	2000-20 平均	2010-40 創成会議 (2014)	2010-60 社人研 (2013)	2020-70 社人研 (2023)	2005 → 2010	2010 → 2015	2015 → 2020	2000-20 平均	2010-40 創成会議 (2014)	2010-60 社人研 (2013)	2020-70 社人研 (2023)
年齢(歳)	男							女						
0～4→5～9	-0.6	-0.6	1.9	-0.2	-2.5	-1.4	0.3	-2.1	-2.0	0.0	-1.3	-3.4	-2.0	-0.9
5～9→10～14	-1.8	-0.3	0.7	-0.9	-2.7	-1.6	-0.3	0.4	0.6	-0.3	-0.4	-0.6	-0.3	0.3
10～4→15～19	-18.5	-15.0	-19.0	-17.5	-17.7	-10.4	-17.9	-13.3	-12.6	-11.5	-12.8	-12.5	-7.3	-11.8
15～19→20～24	-44.2	-38.8	-41.1	-41.7	-35.8	-21.0	-39.3	-39.2	-39.5	-46.2	-40.8	-32.2	-18.9	-39.4
20～24→25～29	28.2	36.9	28.8	29.1	23.1	16.1	36.5	21.2	18.7	14.9	18.9	16.8	11.8	20.8
25～29→30～34	2.5	5.0	7.5	3.6	2.4	1.6	5.5	1.9	1.8	5.0	2.8	1.2	0.8	3.7
30～34→35～39	-0.3	1.5	0.5	0.2	-0.9	-0.6	0.8	-3.0	-1.0	1.2	-1.2	-3.6	-2.1	-0.6
35～39→40～44	-1.1	1.3	-1.1	-1.0	-1.9	-1.1	-0.5	-1.5	-0.1	1.2	-0.7	-2.3	-1.3	0.2
40～44→45～49	0.2	1.4	0.1	0.1	-0.6	-0.3	0.5	0.1	0.4	0.1	-0.1	-0.7	-0.4	0.4
45～49→50～54	-0.3	1.3	0.3	0.0	-1.2	-0.7	1.0	0.8	-1.1	-0.3	-0.2	0.1	0.1	-0.1
50～54→55～59	-0.8	1.1	-0.4	0.4	-2.0	-1.2	0.2	0.5	0.4	-1.4	0.1	-0.2	-0.1	-0.2
55～59→60～64	0.6	2.9	-0.4	1.0	-1.2	-0.7	0.5	-0.8	0.3	-1.1	-0.3	-1.5	-0.9	-0.6
60～64→65～69	0.3	1.6	-0.2	0.5	-0.9	-0.5	0.1	-0.6	-0.1	-0.4	-0.5	-0.9	-0.5	-0.6
65～69→70～74	-0.7	0.7	-0.4	-0.1	-1.7	-1.0	-0.9	-0.4	-0.1	-1.1	-0.3	-0.9	-0.5	-0.9
70～74→75～79	0.6	1.3	1.6	1.2	-0.4	-0.2	0.1	0.5	0.9	0.2	0.7	-0.3	-0.2	-0.5
75～79→80～84	-0.7	-0.1	2.8	0.6	-1.8	-1.1	-0.6	1.1	0.7	1.1	1.5	-0.3	-0.2	-0.5
80～84→85～89	1.6	2.4	2.2	1.9	0.7	0.3	0.9	0.6	1.2	0.7	0.9	-1.3	-0.9	-1.1
85 以上→90 以上							-0.2							-0.1

5. 若者回復率

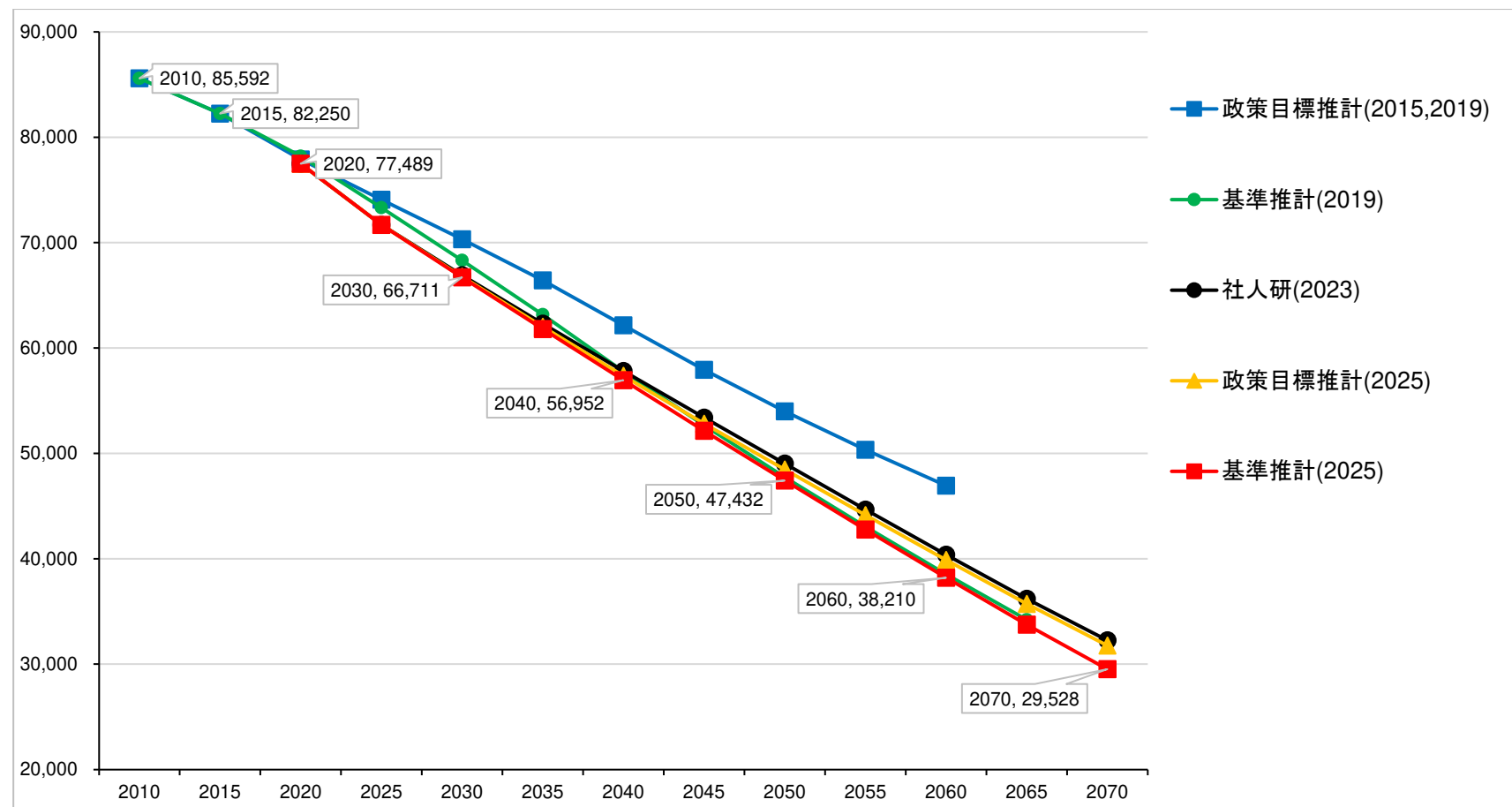
若者回復率(男女)の実績値(1980～2020 年)と推計値(2020～2070 年)



	1980 → 1985 年	1985 → 1990 年	1990 → 1995 年	1995 → 2000 年	2000 → 2005 年	2005 → 2010 年	2010 → 2015 年	2015 → 2020 年	2020 → 2025 年	2025 → 2030 年	2030 → 2035 年	2035 → 2040 年	2040 → 2045 年	2045 → 2050 年	2050 → 2055 年	2055 → 2060 年	2060 → 2065 年	2065 → 2070 年
実績値+2025 基準推計(男)	39.0%	29.4%	64.7%	57.6%	24.9%	34.7%	52.2%	41.6%	30.6%	35.7%	36.1%	41.8%	43.6%	38.9%	37.0%	36.4%	36.9%	39.0%
実績値+2025 基準推計(男女)	32.8%	27.7%	52.6%	49.1%	28.6%	34.2%	39.5%	35.3%	16.2%	29.6%	32.9%	37.3%	38.1%	34.3%	32.8%	32.2%	32.6%	34.4%
実績値+2025 基準推計(女)	24.1%	25.3%	38.7%	40.2%	33.0%	33.4%	26.7%	28.5%	-0.1%	23.1%	29.3%	32.1%	32.0%	29.2%	28.0%	27.5%	27.8%	29.2%
2023 社人研(男)									30.6%	50.8%	53.6%	62.2%	64.3%	54.8%	51.7%	52.0%	53.2%	56.4%
2023 社人研(男女)									16.2%	41.7%	47.5%	54.1%	55.0%	47.1%	44.4%	44.7%	45.6%	48.2%
2023 社人研(女)									-0.1%	32.0%	40.4%	44.9%	44.4%	38.4%	36.2%	36.4%	37.1%	39.0%
2025 政策目標(男)									30.6%	35.7%	38.0%	44.6%	51.2%	56.6%	56.6%	56.6%	56.6%	56.8%
2025 政策目標(男女)									16.2%	29.6%	34.7%	39.8%	44.9%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
2025 政策目標(女)									-0.1%	23.1%	30.9%	34.3%	37.8%	42.6%	42.6%	42.6%	42.6%	42.4%

6. 人口推計・シミュレーション結果

基準推計(2025)は、本市の人口減少に対して最も厳しい見方であるが、実は基準推計(2019)と非常に近い推計結果。
政策目標推計(2025)は、社人研(2023)と非常に近い推計結果。



以下は、本市の基準推計(2015, 2019, 2025)、政策目標推計(2015, 2019, 2025)、社人研(2023)に加えて、複数のシミュレーション結果を示している。
下段にそれぞれの 2050 年、2070 年時点での人口減少抑制効果を示している。

	基準推計 (2015)	基準推計 (2019)	社人研 (2023)	基準推計 (2025)	政策目標 推計 (2015,2019)	政策目標 推計 (2025)	シミュレーシ ョン①	シミュレーシ ョン②	シミュレーシ ョン③
					2035 年までに 出生率 2.3 2025 年までに 回復率 50%	2050 年までに 出生率 1.8 2050 年までに 回復率 50%	2040 年までに 出生率 1.8 2050 年までに 回復率 50%	2050 年までに 出生率 1.8	2040 年までに 出生率 1.8
2005	89,208								
2010	85,592	85,592			85,592				
2015	81,843	82,250			82,250				
2020	77,476	78,210	77,489	77,489	77,898	77,489	77,489	77,489	77,489
2025	72,818	73,322	71,690	71,690	74,085	71,690	71,690	71,690	71,690
2030	67,997	68,319	66,908	66,711	70,327	66,777	66,821	66,777	66,821
2035	62,940	63,170	62,311	61,807	66,417	62,022	62,145	61,992	62,115
2040	57,608	57,770	57,817	56,952	62,165	57,363	57,593	57,295	57,523
2045	52,296	52,660	53,399	52,147	57,935	52,826	53,100	52,670	52,939
2050	47,244	47,746	49,033	47,432	53,988	48,473	48,737	48,125	48,369
2055	42,503	43,047	44,674	42,776	50,347	44,149	44,406	43,593	43,809
2060	38,044	38,529	40,385	38,210	46,941	39,894	40,155	39,126	39,328
2065		34,224	36,207	33,750		35,729	36,011	34,758	34,984
2070			32,258	29,528		31,772	32,080	30,635	30,891
基準推計(2025)と比較した場合の 2050 年時点での人口減少抑制効果						1,041	1,306	693	937
基準推計(2025)と比較した場合の 2070 年時点での人口減少抑制効果						2,244	2,552	1,107	1,364